

ウルシの山地植栽における栽培適地

1 研究のねらい

漆液の産地である浄法寺地方では、採取源の確保を目的にウルシの山地植栽が行われているが、これらの植栽地における生長状況を明らかにし栽培適地を解明する。

2 調査方法

調査対象は浄法寺町吉田地内の8年生及び17年生の植栽地で、沢をはさんだ北向き斜面と南西向き斜面とした。調査は土壌の深さ及び胸高直径と樹高を1999年1月に測定した。

3 結果と考察

土壌は8年生、17年生ともに北向き斜面でA層が厚かった(表)。生長量は図のとおり17年生の北向き斜面では胸高直径10cm、樹高7.9mと既に漆液を採取できる大きさに達していたが、南西向き斜面では北向き斜面の約半分であった。また、8年生でも同様の傾向を示し北向き斜面では樹高3.2mになっていたのに対し、南西向き斜面では樹高1.5mにも達しなかった。

以上のように北向き斜面で生長が良かった原因は、腐植層が厚く土壌条件が良かったことによると考えられた。

4 成果の活用

ウルシは陽樹であり陽当たりの良い場所を好むが、浄法寺町のような緩斜面の丘陵地では土壌条件の良い北向き斜面の方が栽培に適していることが明らかになった。また、このような場所では17年生で漆液採取が出来ることが明らかになった。

表 斜面方位別の土壌層位

樹 齢	斜面の向き	A層	B層
8年生	北向き	30cm	60cm
	南西向き	20cm	90cm
17年生	北向き	30cm	80cm
	南西向き	10cm	60cm

注) A層; 有機物に富む土壌
B層; 有機物の少ない土壌

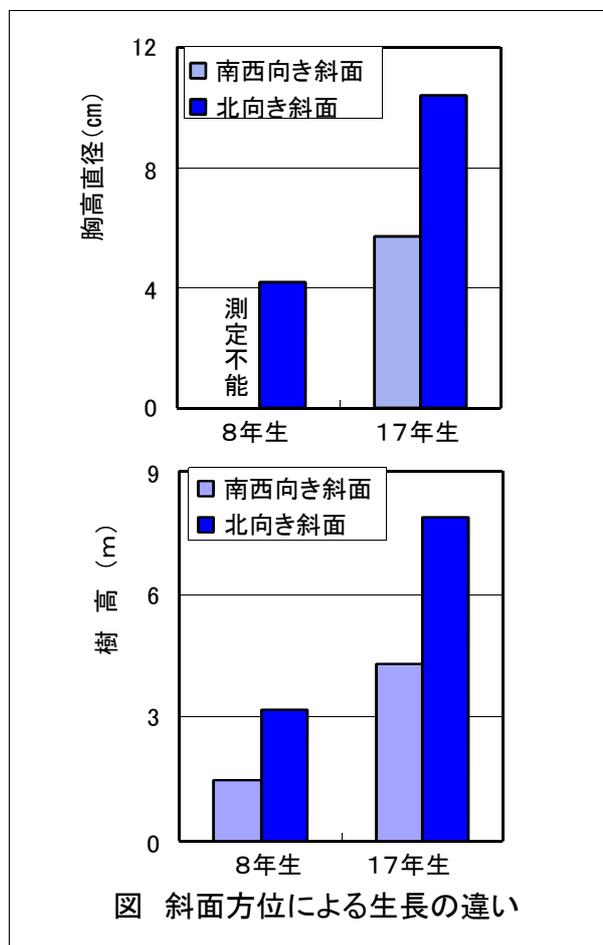


写真 北向き斜面の生長状況 (17年生)

(担当 特用林産部 専門研究員 泉 憲裕)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水560-11 TEL 019-697-1536
岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>

